



NHK杯 第58回 全日本選抜選手権大会

実力確かな選手だけが出場できるこの大会では、目立つ存在ではなかったかもしれない工藤由佳と高林和志。それでも、東日本選手権での3冠独占という快挙と、中学全国No.2のポテンシャルを振り返れば、この結果にもうなずけるものが。そして何より、最終決戦の前に「優勝する」と言い切った意志の強さこそが、頂点へ駆け上がる力になったことは間違いありません。

Rise to Stardom!

2～3面 第58回全日本選抜選手権大会
4面 ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING 2025
5面 INFORMATION

KING OF BOWLING



第58回 全日本シニアボウリング選手権大会

2025年6月20日(金)～22日(日)

主催
公益財団法人 JAPAN BOWLING

特別協賛
株式会社エナジックインターナショナル

協力
日本ボウリング機構 (JBO)
公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団

主管運営
愛知県ボウリング連盟

**GUINNESS
WORLD
RECORDS**

世界最大のボウリング場
116レーン(長さ198.39m/650.88ft)

ギネス世界記録認定を受けた「世界最大のボウリング場」で、リニューアルされた「プロレーン」をご堪能ください。

稲沢グランドボウル 〒492-8164 愛知県稲沢市井之口大坪町 80-1
TEL 0587-21-2131 FAX 0587-21-2133

www.grandbowl.jp/inazawa



NHK杯第58回全日本選抜選手権大会

一気にスターダムへ!

NHK杯第58回全日本選抜選手権大会が5月16日(金)から18日(日)にかけて、埼玉・新狭山グランドボウル(公認No.111-030)で開催された。

副会長
開会宣言する西林康憲



厳しい参加資格をクリアした275名のボウラーがエントリーしてNHK杯をかけた激戦を展開。男子は中学2年生の高林和志(東京)が、出場中最年少にして大会を制するという快挙を成し遂げた。女子は東日本選手権3冠の実績で出場した工藤由佳(岐阜)が、全国タイトル未冠からのNHK杯獲得を果たした。



優勝 高林和志



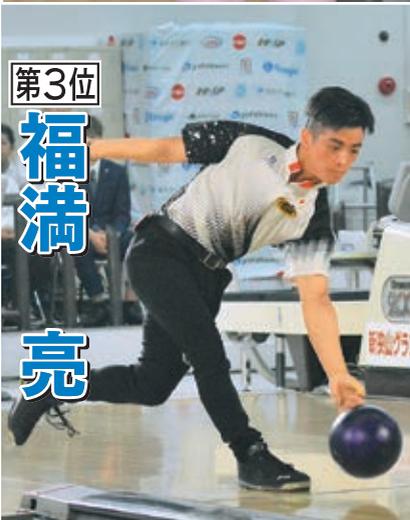
男子の部

予選1回戦のトップは、前回覇者の座波政斗(学連)。1ゲーム目からパーフェクトチャンスを見せて298をマークした。

1ク、シリーズ753を叩き出した。2位には今大会出場中最年少の中学2年生、高林和志(東京)が13ピン差で続いた。

(神奈川)がトップに躍り出た。295・297・247とビッグゲームを連発して、シリーズ759は最終的に今大会のハイシリーズに、高林も19ピン差で2位に留まり、14歳の快進撃に注目が集まった。

第3位 福満亮



準優勝 勝又七夢



高林和志		男子優勝	
主な戦績	第48回全日本中学選手権大会 準優勝	東京都	13歳
使用ボール	Purple Pearl Urethane Hammer(15p)		
公認ドリラー	井口遼太 (公認No. 2109-13)		

「ここまでずっと5位をキープしてきた山本貴聖(石川)は、3回戦でついに逆転した。9ゲームトータルピンは2108。このシリーズ755と打ち上げた福満亮(長崎)が山本と同点で並んだが、シリーズローハイで勝った山本が予選1位通過を決めた。

準々決勝は6ゲーム。前半3ゲームで602とスコアを落とした福満だったが、後半は751で挽回してトップに立った。予選を5位で通過した勝又七夢(静岡)が2位に浮上し、前回チャンピオンの須田風海音(群馬)も6ゲーム1410を叩きだし3位まで上がった。



第4位 須田風海音

も730をマーク。福満を上回って首位に躍り出た。すると福満は後半で772とし再び逆転。トップで決勝進出を決めた。須田も後半701にまとめて余裕を持って決勝へ進み、3番手に勝又が入った。最後の1枠を争ったのは高林と山本。高林に1マークリードされながら迎えた最終戦の内容は100点と振り返った。

優勝決定戦は高林がターキーで先行した。勝又はストライクとスペアが交互になり、なかなか差を縮めることができない。後半も高林はダブルを2つ決めて、逆転のスキを一切与えずに勝ち切った。中学生とは思えないほど堂々と試合に臨んだ高林。優勝決定戦の内容は100点と振り返った。



(写真左) 女子HG佐藤と女子HS渡邊 (写真右) 男子HG五月女と男子HS小田島

パーフェクト 300

第58回全日本選抜選手権大会において五月女瑛太選手(埼玉)が大会第51号となるパーフェクトゲームを達成、JB主催大会公認第582号として認定された。

五月女瑛太		パーフェクト	
使用ボール	The One Urethane 78D(15p)	埼玉県	15歳
公認ドリラー	齋藤政慶 (公認No. 1518-11)		

ゲームで、山本は246を打った。しかし高林も241として逃げ切り、4位を守った。3位決定戦で最初に連続ストライクを決めたのは勝又。3・4フレーム目でダブルをマークしたが、5フレーム目は3・6・7番ピンを残すスプリット。しかしこれを見事にメイクした。直後にターキーも決めた勝又は余裕を持って優勝決定戦進出を決めた。昨年に続いての決勝進出となった福満は、7番ピンがなかなか倒せずダブルにならないう。そして男子初の連覇に期待が高まっていた須田も、あと1本を倒すためのアジャストがはまらず、高林は10番ピンの9本カウントが3回続いた後、ついにターキーを決めた。このリードを活かしてノミンスで乗り切ると、勝又をも抜いて優勝決定戦への切符をつかんだ。

第61回東日本ボウリング選手権大会

2025.6.27(金) ▶ 29(日)

主催 (公財) JAPAN BOWLING
後援 (公財) 北海道スポーツ協会
協力 日本ボウリング機構(JBO)
主管 北海道ボウリング連盟

総合レジャーサンコーボウル

〒063-0814 北海道札幌市西区琴似4条7丁目1-20 TEL 011-641-5211

第61回西日本ボウリング選手権大会

2025.6.27(金) ▶ 29(日)

主催 (公財) JAPAN BOWLING
後援 (公財) 滋賀県スポーツ協会(予定)
協力 日本ボウリング機構(JBO)
主管 滋賀県ボウリング連盟

ラピュタボウル彦根

〒522-0044 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町43-1 TEL 0749-27-5590

NHK杯 第58回全日本選抜ボウリング選手権大会 成績表

参加 275名 (男子174名・女子101名)

2025年5月16日(金)~18日(日)
埼玉・新狭山グランドボウル

決勝 (上位4名進出)

《男子》				《女子》			
順位	名前	スコア	戦績	順位	名前	スコア	戦績
1位通過	福満亮 (長崎)	4,914	3・4位決定戦	1位通過	網代羅夢 (神奈川)	4,468	3・4位決定戦
2位通過	須田風海音 (群馬)	4,852	3位決定戦	2位通過	入江菜々美 (三重)	4,385	3位決定戦
3位通過	勝又七夢 (静岡)	4,803	4位決定戦	3位通過	渡辺希哩 (学連)	4,357	4位決定戦
4位通過	高林和志 (東京)	4,729	優勝決定戦	4位通過	工藤由佳 (岐阜)	4,344	優勝決定戦
優勝	高林和志	236	準優勝決定戦	優勝	工藤由佳	203	準優勝決定戦
準優勝	勝又七夢	175	準優勝決定戦	準優勝	網代羅夢	181	準優勝決定戦

最終結果

順位	名前	所属	スコア	順位	名前	所属	スコア
優勝	高林和志	(東京)	(決勝)	優勝	工藤由佳	(岐阜)	(決勝)
準優勝	勝又七夢	(静岡)	(決勝)	準優勝	網代羅夢	(神奈川)	(決勝)
第3位	福満亮	(長崎)	(決勝)	第3位	渡辺希哩	(学連)	(決勝)
第4位	須田風海音	(群馬)	(決勝)	第4位	入江菜々美	(三重)	(決勝)
第5位	山本青空	(石川)	4,717 (21G)	第5位	小林茜	(徳島)	4,343 (21G)
第6位	加藤勇紀	(三重)	4,649 (21G)	第6位	石本恵梨奈	(学連)	4,299 (21G)
第7位	梅田久徳	(三重)	4,625 (21G)	第7位	佐藤悠里	(神奈川)	4,274 (21G)
第8位	座波政斗	(学連)	4,610 (21G)	第8位	渡邊陽	(広島)	4,236 (21G)
ハイゲーム	五月女瑛太	(埼玉)	300	ハイゲーム	佐藤悠里	(神奈川)	274
ハイリース	小田島一路	(神奈川)	759	ハイリース	渡邊陽	(広島)	707



優勝 工藤由佳

工藤由佳	パーフェクト
岐阜県	27歳
主な戦績	第60回東日本選手権大会 選手権者
使用ボール	Effect Tour(15p)
公認トレーナー	松本真一 (公認No. 1197-24)



準優勝 網代羅夢

女子の部

予選1回戦、渡邊陽(広島)がたまたま700をマークして首位登進した。井双葉熊本が696で2位につけた。7位の濱崎姫琉(神奈川)は2回戦に683を打ってトップを奪い、2位に留まった渡邊に37ピン差をつけた。

3回戦では渡邊が685と再びトップに立った。網代羅夢(神奈川)は4位から2位に順位を上げたが、渡邊と



(左から)男子の部 優勝の高林、準優勝の勝又、第3位の福満、第4位の須田、第5位の山本、第6位の加藤、第7位の梅田、第8位の座波



(左から)女子の部 優勝の工藤、準優勝の網代、第3位の渡辺、第4位の入江、第5位小林、第6位の石本、第7位の佐藤、第8位の渡邊

第3位 渡辺希哩

網代は準々決勝で前半619、後半は694とスコアを伸ばして逆転に成功した。渡辺希哩(学連)は網代を上回る1325をマークして、6位から2位へ。入江菜々美(三重)も10位から3位へとジャンプアップした。

網代は準決勝の前半でスコアを伸ばせなかったが、トップは守った。入江は630にまとめると網代のスコアに並んだ。後半、網代は1ゲーム目の205で抜け出すと、そのまま決勝トップ通過を決めた。2位以下は4名が1マスの差で固まる大混戦で最終ゲームに突入した。入江が212、渡邊が202で締めくくり、2位3位に確定。最後の1枠は7位通過の工藤由佳(岐阜)と4位通過の小林茜(徳島)の争いに。小林は

第4位 入江菜々美



3位決定戦に進んだ4名のうち、唯一この舞台を経験している入江だったが、前半はスベアでつなぐ展開に。工藤は3フレーム目から、渡邊は4フレーム目から、ターキーを決めた。そして網代は4フレーム目からの5連続ストライクで大きく抜け出した。2位通過を狙うかたちになった3名は、トップの工藤に会場を沸かせた。

5ピン差で渡辺、さらに5ピン差で入江と続いた。9フレーム目にストライクを決めて、逆転のチャンスを引き寄せた入江だったが、10フレーム目は10番ピンが残った。そして工藤は、10フレーム目にダブルを決めて、2位の座を自ら確定させた。

優勝決定戦では、工藤が2フレーム目、網代が3フレーム目早くもオープンフレームを喫した。前半は両者ともストライクコースをつかみきれない投球が続いた。網代は6フレーム目からダブルでリードを作ったが、直後の8フレーム目で3本を残すスプリット。カウントを大きくロスしてしまった。工藤はこのタイミングでストライクを決めると、8・9・10フレーム目でターキーに成功。網代を抜き去って優勝を決めた。最後の1投ではスプリットメイクも披露し、テクニクでも会場を沸かせた。

ガイド

全日本選抜選手権大会の出場資格は、歴代優勝者、前年度のJB主催大会優勝・入賞者、各地区選手権上位者、公認1000ゲーム達成者、全日本ナショナルチームメンバー、公式国際大会の日本代表選手など、実績を残した選手に与えられる。

競技は予選9ゲーム、準々決勝6ゲーム、準決勝6ゲームの合計21ゲームを行い、決勝には男女とも上位4名が進出。3位決定戦は1ゲームマッチのエリミネーター方式で、4名のうちスコア上位2名が勝ち上がる。優勝決定戦は1対1の1ゲームマッチを行い、勝者が優勝となる。

前回大会で記録された男子の最年少優勝記録(須田風海音選手/16歳6カ月)が、早くも更新された。高



この大会はスポーツ振興基金の助成を受けて開催しています。

林和志選手は13歳3カ月での大会制覇で、中学生の新チャンピオンが誕生した。

NHKで実況生中継

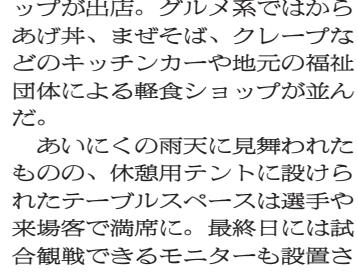
大会最終日、優勝決定戦の様子は今年もNHK・Eテレで1時間15分にわたり実況生中継。実況は野地俊二アナウンサー、解説は全日本ナショナルチームの下地賀寿守監督が務めた。



Bowl Park 新狭山大盛況

大会期間中、新狭山グランドボウル駐車場では、食事や買い物を楽しめる「Bowl Park新狭山」が開設された。ボウリンググッズのボウルスター、ミシン刺繍のヨコブリンなどボウラーにおなじみのショップが。グルメ系ではからあげ井、ませそば、クレープなどのキッチンカーや地元の福祉団体による軽食ショップが並んだ。

あいにくの雨天に見舞われたものの、休憩用テントに設けられたテーブルスペースは選手や来場客で満席に。最終日には試合観戦できるモニターも設置さ



れ、決勝エリミネーターの様子が上映された。



すべてのボウラーの頂点を決める 真のオープントーナメント



ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING

JAPAN 2025

ラウンドワンブランドチャンピオンシップボウリング



7/18 オンライン予選会で

入江菜々美と対決

2024 女王

エントリー受付中

プロでもアマでも
賞金総額 **3,000万円!!**

JB 公益財団法人 JAPAN BOWLING 予選会

JBって
こんな団体

「将来は日本代表に!」「アマチュアでも、ハイレベルを目指したい」子どもも大人も、向上心のあるボウラーにぴったりの競技団体です。もちろんビギナーも大歓迎!競い合っ、自分のボウリングを極めましょう!

こんな方におススメ!

チャレンジ精神旺盛な
アマチュアボウラー

自分のレベルを試してみたい、
全国大会ビギナーの方

将来、プロや日本代表を
目指している方

アマチュアのトップを極め、
下剋上してみたい方

「いつでも」「どこでも」気軽に参加出来る

フリータイム予選会

[ゲーム数] **3ゲーム**

[参加費] ゲーム料金 + **200円** (税込)

ナショナルチームによるチャレンジマッチも開催予定!

オンライン予選会

[ゲーム数] **3ゲーム**

[参加費] **2,700円** (税込)

WEBから

JBホームページより
エントリー下さい。



上位者は、アマチュア セミファイナルへ!!

アマチュア セミファイナル
(NBF決勝大会/JB決勝大会)

開催会場 予選通過時に投球希望した店舗にて投球
開催日 **2025年10月11日(土)**

優勝賞金(男女共)
賞金総額 460万円
レギュラー 50万円 | アクティブジェネレーション 20万円 | グランドジェネレーション 10万円

アマチュア セミファイナル団体別上位入賞者が各団体の代表選手として **GRAND FINAL** へ進出!!

決勝大会を勝ち抜いた各団体代表の選手のみが出場!

ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING GRAND FINAL

開催日 **2025.11.8 SAT**
会場 ラウンドワンスタジアム堺中央環状店

賞金総々額 **18,000,000円**

男子レギュラー部門
賞金総額 **7,000,000円**
優勝 **4,000,000円**

男子アクティブ部門
賞金総額 **1,320,000円**
優勝 **500,000円**

男子ジュニア部門
賞金総額 **680,000円**
優勝 **150,000円**

女子レギュラー部門
賞金総額 **7,000,000円**
優勝 **4,000,000円**

女子アクティブ部門
賞金総額 **1,320,000円**
優勝 **500,000円**

女子ジュニア部門
賞金総額 **680,000円**
優勝 **150,000円**



特別協賛 株式会社ラウンドワンジャパン
共催 公益社団法人 日本プロボウリング協会
公益財団法人 JAPAN BOWLING
日本ボウラーズ連盟

2025 強化合宿を開催

We are Team JAPAN

INFORMATION 大会・イベント情報

ナショナルチーム通信

2025年度の全日本ナショナルチーム強化合宿が、4月27日(日)から30日(水)にかけて群馬・ドリームスタジアム太田(公競No.10・036)で開催されました。3月の選考会を経て決定したメンバー総勢32名が集まり、公式国際大会への対策とチームビルディングに取り組みました。

今年度は、8月に世界ユース選手権大会(マレーシア)、11月に世界選手権大会(中国香港)への代表選出を予定。どちらのチーム戦にはベテラン方式が採用されており、1フレーム交代でレーンを読みスコアを上げるためにコミュニ



また、メンバーの約半数が新加入選手であることから、体づくりの基本を学ぶ時間も設けました。センター併設のトレーニングセンターを利用して、東京大学大学院の岩井雄史特任研究員に、ボウリングの身体動作に合わせたトレーニングメニューを指導していただきました。また、芦川和義氏と松本妃永氏による指導のもと、レッシュ4スタンス理論に基づき自身の体の特性



アンチドーピングの基本を塚田芳久医師(スポーツ医学・アンチドーピング部会長)に学ぶ



芦川氏(右)、松本氏(左)が選手個々の体の特性を基に指導

ニケーション向上を常に意識しながらの練習となりました。

を知る講習を行いました。アンチ・ドーピングやコンプライアンスなど、トピ

スリートの常識とも言える規範に関する講義も展開しました。

2025年5月10日以降登録者

【特別個人会員】

- ▽千葉県 株式会社コイト (代表取締役 谷川有司)
- ▽広島県 キヤッスルボウル福山(支配人 岩川敬史、ミズガデン株式会社 (代表取締役 三島豊、キヨニユー 観光株式会社 (加川恒彦、清水開発株式会社(代表取締役 清水利憲)
- 【特別個人会員】
- ▽青森県 古川一司(連盟副会長)、鳥谷部エイ子(同理事長)
- ▽宮城県 山下哲郎(連盟会長)、渡邊雅司(同理事長)、伊藤秀明(同副理事長)、吉田亮、澤田秀司
- ▽秋田県 布目浩嗣(連盟理事長)、遠藤博(同副理

【特別法人会員】

- ▽茨城県 久保正幸(連盟副会長兼理事長)、横山信一(連盟副理事長)、谷津尚行(同、永島守、木村臣吾、檜垣智美、長南光男、伊藤浩孝
- ▽群馬県 清水真人(連盟会長)、竹田達治(JB評議員、連盟副会長)、村田繁(連盟副会長)、宮沢隆(同、川口美永(JB理事、連盟理事長)、黒崎成男、星野仁天、佐藤則明、佐藤敏明
- ▽埼玉県 沼上孝幸(連盟会長)、高山敏昭(同副会長兼理事長)、坂本玲子(同副理事長)、金子正春(同副理事長)、柴田忠一(同、白草淳
- ▽東京都 窪田洋(フランチ、連盟会長)、田原庄治(連盟副会長)、高橋尚代(同、川口美永(JB理事、連盟理事長)、飯島祥行(フランチ、JB理事)、松原聡(フランチ)
- ▽富山県 大島宗男(連盟理事長)、小倉徳一(同副理事長)、細野忠(同、藤下俊幸(JB評議員、連盟副理事長)、境明、久郷冬
- ▽新潟県 野片井彰、土反治久、山本直美、江幡洋一、三田隆代、吉野浩司、八幡馨、池田和紀、中井裕樹、七澤紀子、近藤匡泰、鈴木茂明、吉田仁
- ▽石川県 榎本隆明(連盟副理事長)、広岡唯夫(同副理事長)、渡辺正広、永山順一、米沢敏雄、竹田源作、石谷すす子、亀田芳彰
- ▽静岡県 深澤陽一(連盟会長)、長知淳行(同副会長)、深澤智秀(同副理事長)、長澤孝之(同、北風慎雄(同、八木朗雄、増田直秀、小林慎治、板垣幸吉、板垣愛子
- ▽愛知県 伊藤明(JB理事、連盟副理事長)、天野政幸(連盟副理事長)、山口勝也(同、真鍋洋(同、菅啓司、皆越英次、二江拓生、熊谷知久、小島真、滝川清美、小川美由希、赤木研太、星川創、道下和明、大
- ▽大阪府 尾辻利章(JB評議員、連盟会長)、尾辻桂満(連盟副会長)、尾辻桂子、川宿田達
- ▽鳥根県 黒光秀尊(連盟副理事長)、林田尚恵(同副理事長)、江戸泰之、江戸事、連盟副理事長、西森安正(連盟副理事長)、西山史浩(同、武知孝昌、山口宏明、宮脇彰
- ▽高知県 近藤浩一(JB評議員、連盟副理事長)、大崎勝彦(連盟副理事長)、別役壽章、柿原昇
- ▽福岡県 四宮和裕(JB理事、連盟副理事長)、宗像利裕(連盟副理事長)、的野洋祐、大賀保文、山口佳秀、上田幸男、稗田清人、西熊嘉子、山川誠、國友
- ▽長崎県 服部良成、野口明廣、藤山篤美、菊川隆行、菊川曜子、毛利友一、高橋徹、橋本徳善、本田博次、山下亮紘
- ▽佐賀県 吉村勝寿(連盟副理事長)、廣川陽三
- ▽熊本県 大城戸重光、中川晶子、塚本佐代子、佐々梨枝子
- ▽大分県 安藤寛(連盟副理事長)
- ▽鹿児島県 尾方幸男(連盟副理事長)、中尾奎翔、福元優太、尾方あゆみ、片野坂彰、有村みゆき

【特別法人会員】

- ▽千葉県 株式会社コイト (代表取締役 谷川有司)
- ▽広島県 キヤッスルボウル福山(支配人 岩川敬史、ミズガデン株式会社 (代表取締役 三島豊、キヨニユー 観光株式会社 (加川恒彦、清水開発株式会社(代表取締役 清水利憲)
- 【特別個人会員】
- ▽青森県 古川一司(連盟副会長)、鳥谷部エイ子(同理事長)
- ▽宮城県 山下哲郎(連盟会長)、渡邊雅司(同理事長)、伊藤秀明(同副理事長)、吉田亮、澤田秀司
- ▽秋田県 布目浩嗣(連盟理事長)、遠藤博(同副理

【特別法人会員】

- ▽茨城県 久保正幸(連盟副会長兼理事長)、横山信一(連盟副理事長)、谷津尚行(同、永島守、木村臣吾、檜垣智美、長南光男、伊藤浩孝
- ▽群馬県 清水真人(連盟会長)、竹田達治(JB評議員、連盟副会長)、村田繁(連盟副会長)、宮沢隆(同、川口美永(JB理事、連盟理事長)、黒崎成男、星野仁天、佐藤則明、佐藤敏明
- ▽埼玉県 沼上孝幸(連盟会長)、高山敏昭(同副会長兼理事長)、坂本玲子(同副理事長)、金子正春(同副理事長)、柴田忠一(同、白草淳
- ▽東京都 窪田洋(フランチ、連盟会長)、田原庄治(連盟副会長)、高橋尚代(同、川口美永(JB理事、連盟理事長)、飯島祥行(フランチ、JB理事)、松原聡(フランチ)
- ▽富山県 大島宗男(連盟理事長)、小倉徳一(同副理事長)、細野忠(同、藤下俊幸(JB評議員、連盟副理事長)、境明、久郷冬
- ▽新潟県 野片井彰、土反治久、山本直美、江幡洋一、三田隆代、吉野浩司、八幡馨、池田和紀、中井裕樹、七澤紀子、近藤匡泰、鈴木茂明、吉田仁
- ▽石川県 榎本隆明(連盟副理事長)、広岡唯夫(同副理事長)、渡辺正広、永山順一、米沢敏雄、竹田源作、石谷すす子、亀田芳彰
- ▽静岡県 深澤陽一(連盟会長)、長知淳行(同副会長)、深澤智秀(同副理事長)、長澤孝之(同、北風慎雄(同、八木朗雄、増田直秀、小林慎治、板垣幸吉、板垣愛子
- ▽愛知県 伊藤明(JB理事、連盟副理事長)、天野政幸(連盟副理事長)、山口勝也(同、真鍋洋(同、菅啓司、皆越英次、二江拓生、熊谷知久、小島真、滝川清美、小川美由希、赤木研太、星川創、道下和明、大
- ▽大阪府 野片井彰、土反治久、山本直美、江幡洋一、三田隆代、吉野浩司、八幡馨、池田和紀、中井裕樹、七澤紀子、近藤匡泰、鈴木茂明、吉田仁
- ▽石川県 榎本隆明(連盟副理事長)、広岡唯夫(同副理事長)、渡辺正広、永山順一、米沢敏雄、竹田源作、石谷すす子、亀田芳彰
- ▽静岡県 深澤陽一(連盟会長)、長知淳行(同副会長)、深澤智秀(同副理事長)、長澤孝之(同、北風慎雄(同、八木朗雄、増田直秀、小林慎治、板垣幸吉、板垣愛子
- ▽愛知県 伊藤明(JB理事、連盟副理事長)、天野政幸(連盟副理事長)、山口勝也(同、真鍋洋(同、菅啓司、皆越英次、二江拓生、熊谷知久、小島真、滝川清美、小川美由希、赤木研太、星川創、道下和明、大

【特別法人会員】

- ▽千葉県 株式会社コイト (代表取締役 谷川有司)
- ▽広島県 キヤッスルボウル福山(支配人 岩川敬史、ミズガデン株式会社 (代表取締役 三島豊、キヨニユー 観光株式会社 (加川恒彦、清水開発株式会社(代表取締役 清水利憲)
- 【特別個人会員】
- ▽青森県 古川一司(連盟副会長)、鳥谷部エイ子(同理事長)
- ▽宮城県 山下哲郎(連盟会長)、渡邊雅司(同理事長)、伊藤秀明(同副理事長)、吉田亮、澤田秀司
- ▽秋田県 布目浩嗣(連盟理事長)、遠藤博(同副理

【特別法人会員】

- ▽茨城県 久保正幸(連盟副会長兼理事長)、横山信一(連盟副理事長)、谷津尚行(同、永島守、木村臣吾、檜垣智美、長南光男、伊藤浩孝
- ▽群馬県 清水真人(連盟会長)、竹田達治(JB評議員、連盟副会長)、村田繁(連盟副会長)、宮沢隆(同、川口美永(JB理事、連盟理事長)、黒崎成男、星野仁天、佐藤則明、佐藤敏明
- ▽埼玉県 沼上孝幸(連盟会長)、高山敏昭(同副会長兼理事長)、坂本玲子(同副理事長)、金子正春(同副理事長)、柴田忠一(同、白草淳
- ▽東京都 窪田洋(フランチ、連盟会長)、田原庄治(連盟副会長)、高橋尚代(同、川口美永(JB理事、連盟理事長)、飯島祥行(フランチ、JB理事)、松原聡(フランチ)
- ▽富山県 大島宗男(連盟理事長)、小倉徳一(同副理事長)、細野忠(同、藤下俊幸(JB評議員、連盟副理事長)、境明、久郷冬
- ▽新潟県 野片井彰、土反治久、山本直美、江幡洋一、三田隆代、吉野浩司、八幡馨、池田和紀、中井裕樹、七澤紀子、近藤匡泰、鈴木茂明、吉田仁
- ▽石川県 榎本隆明(連盟副理事長)、広岡唯夫(同副理事長)、渡辺正広、永山順一、米沢敏雄、竹田源作、石谷すす子、亀田芳彰
- ▽静岡県 深澤陽一(連盟会長)、長知淳行(同副会長)、深澤智秀(同副理事長)、長澤孝之(同、北風慎雄(同、八木朗雄、増田直秀、小林慎治、板垣幸吉、板垣愛子
- ▽愛知県 伊藤明(JB理事、連盟副理事長)、天野政幸(連盟副理事長)、山口勝也(同、真鍋洋(同、菅啓司、皆越英次、二江拓生、熊谷知久、小島真、滝川清美、小川美由希、赤木研太、星川創、道下和明、大
- ▽大阪府 野片井彰、土反治久、山本直美、江幡洋一、三田隆代、吉野浩司、八幡馨、池田和紀、中井裕樹、七澤紀子、近藤匡泰、鈴木茂明、吉田仁
- ▽石川県 榎本隆明(連盟副理事長)、広岡唯夫(同副理事長)、渡辺正広、永山順一、米沢敏雄、竹田源作、石谷すす子、亀田芳彰
- ▽静岡県 深澤陽一(連盟会長)、長知淳行(同副会長)、深澤智秀(同副理事長)、長澤孝之(同、北風慎雄(同、八木朗雄、増田直秀、小林慎治、板垣幸吉、板垣愛子
- ▽愛知県 伊藤明(JB理事、連盟副理事長)、天野政幸(連盟副理事長)、山口勝也(同、真鍋洋(同、菅啓司、皆越英次、二江拓生、熊谷知久、小島真、滝川清美、小川美由希、赤木研太、星川創、道下和明、大

【特別法人会員】

- ▽千葉県 株式会社コイト (代表取締役 谷川有司)
- ▽広島県 キヤッスルボウル福山(支配人 岩川敬史、ミズガデン株式会社 (代表取締役 三島豊、キヨニユー 観光株式会社 (加川恒彦、清水開発株式会社(代表取締役 清水利憲)
- 【特別個人会員】
- ▽青森県 古川一司(連盟副会長)、鳥谷部エイ子(同理事長)
- ▽宮城県 山下哲郎(連盟会長)、渡邊雅司(同理事長)、伊藤秀明(同副理事長)、吉田亮、澤田秀司
- ▽秋田県 布目浩嗣(連盟理事長)、遠藤博(同副理

おめでとうおめでとう

JAPAN BOWLING 名誉会長(元会長)の北川薫氏が、令和7年春の叙勲において瑞宝中綬章を受勲されました。謹んでお祝いを申し上げます。

イベントカレンダー

6月&7月

- ▽5月30日(金)~6月1日(日) 経済産業大臣杯第51回全日本実業団別選手権大会 三重・鈴鹿ランドボウル
- ▽6月11日(水) 2025年度定時評議員会 東京・仏教伝道センター
- ▽6月20日(金)~22日(日) 第58回全日本シニア選手権大会 愛知・稲沢ランドボウル
- ▽6月27日(金)~29日(日) 第61回東日本選手権大会 北海道
- ▽6月27日(金)~29日(日) 第61回西日本選手権大会 滋賀・ラビータボウル彦根
- ▽7月28日(月)~29日(火) シュニアジャパン認定会(東日本地区) 群馬・パークレイン高崎
- ▽7月31日(木)~8月2日(日) 文部科学大臣杯第49回全日本中学選手権大会 愛知・稲沢ランドボウル
- ▽7月31日(木)~8月2日(日) JOCジュニアオリンピックカップ第49回全日本高校選手権大会 愛知・稲沢ランドボウル

これからもっと、私はスポーツを楽しみます。

※開催24年、バスケ歴1日。毎朝の20分間の運動があるゴールは、なかなかあることを願っています。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。新鮮さでもっとという思いが湧いてくる。競技人生での楽しさは、スポーツの楽しさに出会った。

スポーツを始める人も、楽しむ人も、すべての人のために。スポーツの楽しさを味わっています。

スポーツは、スポーツと人を育てる仲間。

スポンサー: スポーツKUN、BIG